

リレー競技について

対抗リレーは、以下の3種目行います。(セパレートコース)

小学生対抗リレー 20インチ×4名(各100m)

チーム対抗リレーA 16インチ×1名+20インチ×2名+24インチ×1名(各100m)

チーム対抗リレーB 24インチ×4名(各100m)

選手は協会会員登録されている所属団体のチーム以外からの出場はできません。必ず所属団体内で選抜チームを作ってください。

1団体から2チーム、いずれか2種目に出場できます。同一団体に所属の2チームが同じ種目に登録することはできません。同一選手の2種目出走はできません。

競技の仕方

・4人の走者が、それぞれ同じ距離を走り、次の走者にバトンのパスをして継走し、第1走者のスタートから第4走者のフィニッシュまでのタイムを競う。

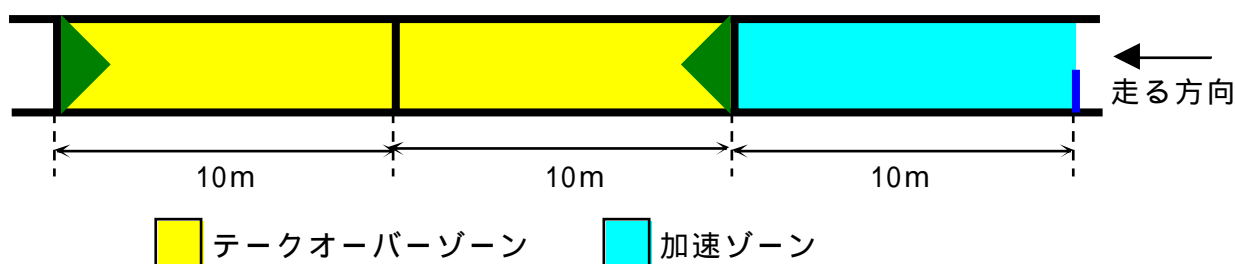
・走者は手にバトンを持って走らなければならない。もしバトンを落とした時は拾ってから走る。このとき、自分のコースから離れて拾っても良い。拾った後はただちに自分のコースにもどり継続する。ただし、他の競技者を妨害したときは失格となる。



・バトンのパスは、テークオーバーゾーンの中でおこなう。これはバトンの位置であって走者の体や車輪の位置ではない。


・バトンパスは、バトンを受け取る次の走者がバトンを手で確実につかみ、わたくし前走者が手から離れたときにパスしたことになる。

・4人×200mまでのリレーでは、次の走者はテークオーバーゾーンの手前10m以内のところから助走してもよい。

・バトンパスした走者はレーン内にとどまること。



・   の間でバトンパスはおこなうこと。

・  の手前から走り出してもよい。ただし、10m以内(加速ゾーン)。

・ 次の走者は、加速ゾーン・テークオーバーゾーン内であれば乗車している状態、乗車していない状態のどちらで待っていてもよい。

解説

・このルールは、陸上競技のルールであり、今までの一輪車の「レース部門の規約」に変更はありません。今までの大会で一部の人から、テークオーバーゾーンの手前のラインを目印に次の走者が待っているのは、テークオーバーゾーン以外だから違反ではないかと話がありました。普段ラインを目印にスタートするのでほとんどの人がテークオーバーゾーンの手前で待っていて走り出します。しかし、陸上競技の一般的なルールですので、問題はありませんが、このルールを知らない人が多いようです。また、この他にもこの内容を知らずにトラブルも起きているようです。そこで、今回の規約の改正でこの件について追加しました。それにより新たなルールのようにとらえられて誤解が生じているようです。必ず加速ゾーンから走り出さなければならないのではなく、加速ゾーンを使っても良いということです。



テークオーバーゾーンでしか待つことができないと、a からスタートするコトになります。しかし、多くの方は b からスタートしています。これが違反にならないのは、加速ゾーンからスタートすることができるからです。